

第2期庄原市行政経営改革大綱の
策定に向けた市民アンケート集計結果
問15 自由意見

平成25年7月

庄原市 企画課

【全般的事項】

- ・若い人が魅力的だと思える活動できる市にして下さい。
- ・都会にいる子供が休日に帰っても友達と話をする場所がないといいます。結局、車で福山へ出たり、誰かの家へ集まったり、毎回困っている様子です。
- ・人口の減少に歯止めがかからず、どんどん過疎化が進んで、さびれていく一方に思われる東城町です。住んでいる者が良いところ、住みやすいところだと感じられるような町にしていきたいと思います。田舎は田舎なりに良さを生かして何か出来るのではないのでしょうか。
- ・無駄な政策をしない。
- ・私の地域には、団塊世代で退職された、お元気な方々が多数おられます。「ゆとりある時間を地域のために…」と望んでおられる方も多いのです。このような多くの方が行政経営に参加していけるような組織(調整機関等)があれば良いのでは、と常々思います。限られた財源の中、人と人のつながりは、庄原市の大きな財産ではないのでしょうか。今後、市の新たな取り組みに期待しております。
- ・現在の生活が精一杯で、行政に関することをよく考えることさえできない状況です。真面目に頑張っても一向に余裕が出来ない世の中は、間違っていると思います。市役所の方も市のために色々してくださっているのですが、公務員はいいなとしか思えません。
- ・私は、収入がないので、とられるのはいやですが、ある程度の痛みをとまっても取るべきときは、取られてもしかたないと思いますが、やっぱり低所得者からは、出来るだけ取らないようにほしい。
- ・私は、よくわかりません。私は、息子病気で仕事ができません。私の年金で生活をしています。年金は、ありがたいです。でも、不安を感じています。ほそい生活をしています。新聞をやめました。私がみて職員さんは、よく見えます。
- ・地元で頑張っている、いろいろな分野の人を応援し、アピール。他県で活躍有名な庄原出身者をもっと知ってもらおう。
- ・土日曜日に市民課が開いていると、働く人、老人(若い人に連れて行ってもらう)にとっても良いと思う。(個人情報保護があるからよけいにそう思う。)三次市は良いと思う。
- ・10年後の人口が何人になっているか考えよう
- ・このまま庄原が衰退していくのが、目にみえて現実になりそうで怖い。高齢化と人口減でゴースタウン化していきそう。庄原市の今と今後に魅力を感じない。
- ・今様にすれば、自然エネルギーによる町おこし、山内で取り組んでいる、おいしい米作り等などに役所がもっと積極的に取り組んで活動を活性化すれば、事業に関心のある若者達の定住促進も進歩するのではないかと思うのです。人口減 役所の定員削減はたちまち人口減という負のスパイラルは断つべきだと思います。
- ・自分の年金から将来を望むことはできませんが、市長、議員は、その職を去ればいいけど、住民は一生この地で生きてゆかねがなりません。行政の長、議会は、その責任の重さを忘れないでほしい。
- ・クジラの骨が物語るように、昔は海底であったと…海底には、ひょっとしたら思わぬ物が眠っているかも…山(木)土地など目に見える物を生かす反面、金と時間はかかっても、新しい産業を生み出す技術開発に…その技術を使いたい為に大・中・小の企業が庄原に工場をつくりたい…そんな物を生み出せば…と思います。
- ・心を磨くトイレ掃除。心が育つ庄原市を目指したいと思う。
- ・もう少し、なんとかならんかねえ
- ・頑張ってください！
- ・行政に対して、私自身があまりにも無関心で適切な意見になっていないかと思っています。各方面のニュース等で、政治そのものに対して関心がなくて生きてきましてが、自分から関わらなかったのかも知れません。反省！
- ・机の上のことばかりでなく、市民との対話の中に未来はあると考える。
- ・予算など気にせず、どうすれば庄原が発展し、暮らしやすくなるかアイデア(奇抜なアイデア)を出すことで、何かきっかけになるものはないのか。 若手の職員から出ないか
- ・昭和戦中、戦後を幼少の頃、過ごしてきました。酷かったけど、不満はありませんでした。現在の豊かさ、福祉の充実はありがたく、勿体なく思います。享受させていただいております。豊かさは、まだまだ追求されると思いますが、経済発展は、エネルギーを必要とするので、再生可能で自然が未来永劫、続くような方向転換が必要かと思っています。
- ・市役所の中高年の方、若い人に力を貸してあげてください。「無理」とか「どうせできんよ」など、足をひっぱらずに、若者のアイデアに協力してください。若者が元気を出せば、年寄りにも障害者にもみんなへ、やさしくなれると考えます。しっかり市民の声に耳をかたむけてください。アンケートに選んでいただき、ありがとうございました。テレビで取り上げられるようなアイデアで、広島県の北の市が元気だと、日本中に知られるような街になるよう期待しています。
- ・中山間地域の活用について、進めてほしい。
- ・法務局の統廃合により各種証明書の取得を郵便局かコンビニか支所でできれば助かる。
- ・このたび、主人をなくして、高齢者支援に女性の立場で申し上げたいと思います。第1年金の件ですが、私の

場合、主人より年金額が多いため支所で簡単にお母さんのはありませんと断られました。主人の厚生年金の何割かもらえるつもりでしたが、一銭もありません。山仕事でケガをし、働けなくなったので私の扶養にしろ、私の収入で家計をやりくりしてきました。支所の方によると年金事務所の相談所に聞いたらないそうですので、一言で決まりました。今後、色々な引き物が全部私にかかってくるので、生活ができないと思います。主人がもらうときは、私のは半分に減らされ、厚生年金は2人のものだからといわれました。主人の分が少しでももらえるものならと悔やまれてなりません。失礼しました。

- ・組内の葬式が何日も休まなければならず大きな負担です。せめて式の当日だけ休みでいように市でリタイヤした、おばさんや主婦など雇って葬式の葬儀場のスタッフにしてほしい(バイト)普通の葬式なら葬儀屋がするべき事を、近所の人やさせられる。これがイヤで田舎に住まない人もいます。高齢化していて、来れない家もあり、そろそろ市が対策をしてほしい。各組内で言ってもどうにもならない。

【行政改革】

- ・50年先、100年先を見越した考え方で、計画を策定してください。
- ・組織経営は、常に時宜に適ったものでなければならず、その意味で行革は、"永遠無窮"の課題と言えます。この努力を怠った時点で、古今東西の権力は崩壊してきました。今回の市民アンケートに回答させていただいた者としても、次期大綱に期待をいたします。審議会委員の皆様には、是非とも各々の視点で率直なご議論をお願いしたいと思います。そして、直截簡明な大綱となるようお願いします。大綱策定後は、職員一丸となつての"一瀉千里"が求められます。大綱を"画脂鏤冰"に終わらせては、委員のご苦労も報われません。そして最後は、やはりトップの英断しかありません。当選された時の初心の位置に立たれ、"右顧左眄"されることなく、"天空海闊" "天人冥合"の心を持たれ、"夷険一節"でお願いします。
- ・町づくりへの将来展望が描けていない。眼前の事に対し、取り組むのみで、先行への考察に腐心が不足かも知れぬ。なお、地方交付税に依存するのであれば、支出の抑制が当然、国の行政のみならず、庄原市としてのプライオリティーがあるはず。ものごとを先送りせず、民間の財務管理、経理方法は参考になると思う。不必要な補助はやめる。休耕田の活用、市のインカムを増するアンケートの内容に少し無理があり、本当の答え又は意は取れぬと思う。
- ・市・県民税が高く、庄原市に今後住み続ける事に不安を感じます。人件費の抑制を本気で取り組んでください。(市役所の方で高級な車に乗ったり、ブランド品をすきなだけ購入している方がおられるのを見ると、私たちの少ない収入で高い税金を取ることはどうかと感得させられます。)
- ・一番必要なゴミ袋が、三次の1.5倍。身障者、年金者、ピンボータン県大生は困っている。職員を減して、財源に当てるべき
- ・行政経営における最大の推進力は、人材である。給与削減などは優秀な人材を集めることに関してはマイナスである。組織は人なのである。木材が安いから山が荒れてるように、人がダメなら組織も体をなさないと思う。私は、削減がすべて正当とは思えない。
- ・各事業の評価等を含めP.D.Sがどの程度、本気に行われているのか？年常業務の多忙を理由に疎かになってはいないか、疑問を感じます。
- ・改革は必要でしょうが安易に人を減らすとか、予算を削ることが、はたして正解なんでしょうか。人が住みにくい町に未来はありません。人を大事にしない町には人は寄り付きません。言葉ではないんです。人は生きています。この町で。
- ・無駄な事はやめ、皆様方の多くの人達が望むことは、思いっきり進めてやってもらいたいです。
- ・全ての面(住民サービスを含む。)において、以前に比べて、改善されつつあると思われるが、民間企業等に比べて改善策が遅く取り組みが弱い(職員の意識改革を含めて)
- ・市民負担増をして行政経営改革を進めると、もっと庄原市は住みにくくなり、人口は減っていくのではないのでしょうか。
- ・行政内部に向けは、外部コンサルなどを取り入れ、非効率な事務を見直したほうがよい。内向きで、生産性のない事務や会議がある。また、職員能力の向上のため、国や県との人事交流や能率向上の研修をすべきと考える。
- ・事業見直し(縦割りでの矛盾解消など、重複解消、効率化)
- ・行政改革ばかりに目を向けず、本当に困っている人を助ける行政をお願いいたします。
- ・「経営」の文字が気になります。行政に経営的感覚が必要なのでしょうか(無駄使いは別として)物より人へ、弱者に手厚く、そして、健康で文化的な生活を営める施策をお願いします。第1次産業に力を入れてください。食が一番です。
- ・市民が行政経営改革により「小さな市役所」を望むなら、行政サービスの低下は、やむを得ないと思う。今の時代、すべての地域を維持する、守ることは財政上困難。どこかを切り捨てる割り切りも必要。
- ・合併から8年が経過して、急速に人口が減っているのに、行政も併せて縮小すれば庄原市は、ますます低迷するのは必至ではないか。市の企業や大学・丘陵公園など民間や他の組織と積極的に関わりをもった、自由な取り組みを進めてもらいたい。
- ・今の無責任な、やり放題の行政に私は、辟易としています。行政職員は、もっと自分たちがやっていることに責任感をもつべきだ。PDCAの様なことでは生ヌルイ。すべてが真剣勝負ですぞ。

- ・行政マンも市民もマンネリの感覚から抜け出し、不平不満ばかり言うことをやめましょう。サービスを受けて当たり前的な、モンスターピュアレント、モンスターペイシエントがはびこにならないように子供の頃からきちんと教育しましょう。
- ・公社を(赤字)なくすべき。
- ・資料1にある指定管理者を含め、市が出資されている会社(特に多額の支援を余儀なくされているもの)を大胆に統廃合する必要性を強く感じており、実行していただきたいです。
- ・新規事業を行うときは、担当者や限られた人数であたることなく、何重にもチェック機能をもって行うようにする。色々、物事を行うときは、責任の所在を明確にする。
- ・前進ばかりが行政でなしに、2～3歩下がる行政も必要かと。
- ・改革の名の下に、民主党の口先だけの政策で、何一つ変わった事は出来なかったではないか。庄原市も戦後の農地改革により、旧地主から農民が土地を持ち、生産意欲と技術の進歩で農作物の収量は飛躍的に増え、山の本も高く売れ、一時は栄えたものだ。40年代に米が余る作付米生産調整だのと工業並みの考え方で農業をとらえたものだから、今日ようになった。今後において、どの施策を行っても農業がもうけにならなければ、誰一人として農業に力を注ぐ人は出てこない。10年で国民所得が150万円増額などといっているが、農業中心のこの庄原市などが、その中心となれるのか。終戦直後から歯をくいしばり頑張った人が老人となり、人の戸を借りて生活する時代になった。西城町などに移動購買車で配達している。今後は、その運転手を心配せよという。何のための老人対策が効率化の名のもと、行政を中心とした出先機関も中央へ移転。地方は何一つ機能しない時代となった。これでいいのか。
- ・頑張ってください。
- ・声の大きさ、有力者への根回しで決定されるという事をよく聞きます。特に地域の住民に密接な道路は生活道です。建設課は、「金がない」「もうちょっとまって」の一点張りで片付けないまま。その間にも大型車が一日に何回も入る状況。行政経営改革の大きな柱として考えてください。(例をあげよといわれればあげます。)

【このアンケートについて】

- ・このアンケートをどれだけの方が、しっかり理解して回答しているかも考えないといけない。
- ・設問自体がよくわからないものもありました。もう少しわかりやすいアンケートにしてもらいたい。
- ・年寄りには、理解しがたい内容だった。
- ・回答がそちらの考えのものだから、何ともいえないが、本当に変えるつもりがあるのなら、もう少しましなアンケートにすれば良いのでは！
- ・答えるのに内容が難しかったです。
- ・このアンケートは、市職員に聞くような内容が多く、答えるのに難しかった。(具体的なことがわからないので)
- ・資料が十分理解できないまま、記入しています。
- ・問が抽象的で、回答しにくい。(問10)
- ・アンケートで意見を言っても出来たことはありません。一つでも本当に実行してください。
- ・こういうアンケートも無駄遣いだと思う。
- ・個別的な行政の実状が明らかに把握されていない。一般市民に言わば大まかなアンケートを実施しても、その結果に市民の確かな意思を読み取ることが可能であると考えられない。このような、概略的なアンケートの結果(統計)に有効的な意味があるとは思えない。つまり、このようなアンケートを参考に行政の指針が示されたとしても、それは、多くの個人的な(切実な)市民の声が、行政に届いた結果であると言う事はできない。
- ・この行政経営改革に関する資料を添付してあるが、専門用語等なじみがなく、解読しづらい。4ページの行政経営改革の図での考え方は、わかりやすく良かったです。

【まちづくりのビジョンなど】

- ・短絡的な補助金が庄原市をダメにしている。市民が自立して生きていけるような長期的ビジョンのもと、お金を使うべき。死にゆく高齢者ではなく、明日の庄原を生きる子供たちに適切に、お金を使うべき。と思いますが、市には期待していないのが正直な所、正しく頑張っている人の足を引っ張らないようにして下さい。
- ・市民が住み良い、地域づくりのために市役所は機能していない。その割に職員数が多く市民のための仕事をしていない。徹底的に市の行政改革をなし、スローガンだけの市づくりは早急に是正すべきであり、市民が庄原市に住んで良かったと実感できる市づくりとは何か根本的に見直すべきである。市会議員の定数も徹底的に削減すべきである。不必要な補助金、箱物づくりはやめるべきである。
- ・庄原市には、これがあるという市民全員の共通認識が創って(造って)いけたら良い街になると思う。歳出の削減の効果はみえているが、税収の増加があってはじめて、税金等の投資効果があったといえるのではないかと。この4年で市の今後を期待しています。
- ・まちづくりについて、全体をどのようにしていくのか、そのため各町をどのようにするのか。具体的に提案し

- ・てもらいたい。そのために住民は、どのような行動すべきか、はっきりしてきてほしいと思います。
- ・中国山地の自然・文化の豊かさは、22世紀に残る、誇れる財産だと思います。住んで良かった、そして次世代の子供たちに残せる「まちづくり」の方向性をしっかり、持って行政経営をお願いします。
- ・どのようなまちづくりを目指すのか、ビジョンがみえません。議会もビジョンがありません。議論になっていません。「いちばん」づくりも具体性がありません。交付税の削減も始まります。しっかりとした方向性を示して施策を展開してほしいと思います。
- ・庄原市の最も特所のある事を明確化し、それを生かした施策を検討せよ。
- ・文化田園都市が理想と思う。
- ・庄原市は、持っているポテンシャルが高いし、日本の多くの場所では、すでに失われてしまったものがたくさん残っている、すばらしい地域。にもかかわらず、それを生かしてきていないし、PRもできていない。これまでの都会志向の価値観で、物事を考えるとジリ貧になるだけです。日本の他の自治体が財政破綻しようとも庄原市だけは、何か生き残ってやる・くらの覚悟で取り組んでももらいたい。行政のそのような姿勢を感じれば、市民はついていきます。
- ・以前は、県立大との共同研究(バイオ)等(名産品)の課題がありましたが、最近はどうなっているのでしょうか？
- ・市長が公約を掲げて、当選された以上、市長の公約に基づいて、積極的に推進すべきと思う。
- ・働く所があれば、住民も増える。住民が増えれば、税収も増える。これほどの住民規模であると民間投資はなきに等しい。行政経営改革による効率化は必要であるが、官僚機構である行政が護送船団方式を強化し、大きな政府を志向することも、まちがっているとはいえない。大都市のルールとは違う部分が明らかに存在しているのだから、時代の潮流と呼ばれることになる多数派の論理を疑ってみるという意識は必要である。行政の規模を強大なものとし、住民、企業をあえてリードさせるという段階で効果を見るという方策が古く非効率なものであるという決めつけも、よろしくないであろう。自由主義的な方法論が効果をあげるには、もっと成熟した市場規模が必要である。いわゆる田舎に住むという非効率な選択をせざるを得ない人々が住民となるのであるから、ある程度、非効率な事が発生するは仕方のないことである。寛容であることが必要である。悲しむべきことは、行財政改革をしないといけないということが強制される現状であり、それが求められる日本の国力の現状である。

【安全・安心なまちづくり】

- ・当たり前の事が、当たり前で無くなってきている事の意識(責任感)
- ・誰でも挨拶が気軽に出来るような町作り(安心と言う意味)
- ・他県より移住した者として、この地域は実に閉鎖的で改革的な行動が抑えられ、日々、損か得かの選択で生活を余儀なくさせられています。行政にも外部や民間からの人材を求め、それを活かせる状況を作ってください。この地に根付いた人々には、革新的行動は無理です。その中でも若い人々の中に、他県から移ったり、Uターンした外の世界を体験した。外の世界を体験したという人々が少しずつ改革に目覚めるのを実感しています。ぜひ、それらの人々を大切にしてください。育ててください。足を引っ張らないでください。そのために子供達の教育に新しい風(教育専門家・芸術家の招聘、指導、講師採用)を入れてほしい。
- ・庄原市内も街はさびれ、ジョイフル周辺やビッグ周辺しか活気がなく、駅周辺の開発、丘陵公園に期待する。もう少し高齢者、子供、病人にとって生活しやすい庄原市を希望する。公務員だけが安定ではなく、市民一人ひとりが安心して生活したいものです。1. 移動販売車・スーパー・灯油配達などのサービスが欲しい。2. 何でも請負人も欲しい。家での大工仕事、ちょっとした作業員とか。
- ・元気な庄原市を望みます。(アンケートが現実に生きることを望みます。)
- ・庄原市をはじめ中山間地域において、今後、益々少子高齢化が進行し、将来予測がつかない状況ですが、世界的には人口増加が進み、生活水準の向上で必ず食糧難の時代が来ると考えられます。農畜産業の振興充実を図りつつ、庄原市の魅力を全国に発信しつつ、若者定住を推進、これ以上、荒廃地を増やさないことに努力すべし。地域住民の共存協働で心豊かで安心して暮らせる里山をつくりたいですね。有能な木山市長、市職員方、市議会議員のリーダーシップに期待します。私たちが出来る限り協力したいです。

【議会関係】

- ・市職員の削減よりも、まず、議員定数の削減を(広島県で一番広い市、市職員を削減するゆえ、することがあるはず)
- ・市会議員の定員削減
- ・市議会議員の給料が高すぎる。出来れば日当制(日割り)に
- ・議員が真に行政経営改革のために役に立っているのか？事例によっては、足をひっぱっているものはないのか疑問を感じます。自分の”票”のためだけであるように思う。それに従う事務方も問題あり。
- ・議員さんたちも大半は、自分のこと、自分の出身地域のことしか考えていない。視野の狭い、足のひっぱりあいは、やめていただきたいです。

【総務管理関係】

- ・市にお願い。回覧板を月1回にして欲しい。
- ・あまりにも配布書類が多いのでは。重複したものが多い様に思います。
- ・市のたより等、配布物の頻度が多いように感じている。個人的感想
- ・本庁舎新築が財政を圧迫しているのではないか。合同庁舎へ入れば良かったのではないと思っている。
- ・お役所の文書や書類は、言い回しや用語が理解しにくい。もっと話し言葉に近い、読みやすい文にしてほしい。
- ・ハローワーク横の駐車場が8時30分になったら満車になる。市職員の通勤用の駐車場ですか？夜も常駐している車、いかがなものか。
- ・本庁の中庭がもったいない。駐車場スペースに変えた方が良いように思います。(身障者優先スペースがいつもいっぱいなので)
- ・市役所(本庁・支所)に人が少ないと物悲しく感じます。とても立派な建物なのに、有効に利用されていないような…節電はわかるけど、薄暗くて陰気な印象を受けます。屋根にソーラーシステムでもつけてみては？
- ・市民用の駐車場に職員がとめるのは、やめてほしいです。

【選挙】

- ・選挙のポスターの掲示板の数が多すぎます。もっと少なくてもいいと思います。どういう基準で設置してあるのでしょうか。人口が減っているのも、もっと少なくても。
- ・今、参議院議員の選挙が行われていますが、選挙期間いっぱい2週間。期日前投票が必要ですか？それなりにお金もかかると思うのですが。後半、1週間でもいいのでは。行政とは関係ないかもしれませんが。

【危機管理関係】

- ・災害時の対応について、各支所の職員の削減が行われており、職員の移動も多く、支所に残る町内の職員が少なく、災害・火災に対する対応が速やかに行われたいのではと思われる。他支所・本庁に行っている町内の職員を災害・火災時等に対応できるよう、出来たらと思う。(支所長の権限において)
- ・支所管内出身職員をバランスよく支所内の室・係に配属すべき。災害等の緊急時に対応できないのでは…初動動作の遅れは命取りになる場合もある。

【地域振興・地域課題】

- ・合併になってよいのは、大きな街ばかり。田舎は、さびれるばかりという思いがつのるばかりです。
- ・旧庄原方式でなく最善を求めること。
- ・すべてが旧庄原市内に集中しすぎている。地方をバカにして切り捨てるようなことはするな。東城と合併していなかったら庄原市はやっていけてないよ。こんな庄原市だから三次市にバカにされ人口も減っていくんだと思う。市長しっかりしろ！もっと市民、特に若者(20代)の意見をきくべき。
- ・東城のある地域にありますが、庄原市民として、あまり利点を感じておりません。周辺部がもっと活性化しネットなどがもっと充実していかなければ、今後の生活が困難になるように思われ、足がなければ生きられない。なんら庄原市役所とのつながりを感じない。住民税がどう私たちに活用されているのだろう。電話でも市外局番をまわさなければいけない。わからないことだらけ。
- ・合併前の区割りを重視しないで、庄原市全体として行政を進めてください。例)竹粉が農産物に良い結果が出て成果が上がっているのなら市全体の地域で取り組みが出来て更に大きな成果が得られれば、市全体が良くなると思います。
- ・比和のあけぼの荘は、現状維持でお願いします。なくさないで下さい。

【財政・補助金関係】

- ・予算執行について、大切な多額の税金を無駄(例:悪評高い「まちなか広場」等)に使っている。予算配分において、地域間の格差が大きい
- ・予算と執行のあり方の見直し(予算があるから使えばいいというものではない。常に税は、(予算は)節約し、繰り越すべきである。必死になって考えてほしい。
- ・本当に必要なものに財政を使って欲しい。今迄に必要な以上に使っていた事があったのでは。
- ・予算割当式から財源・財産掘り下げ、掘り起こし式へ
- ・第2の夕張にはなりたくないもので、市長以下の行政と議会の正しい判断をお願いします。市民も自助・共助の範囲を全力で行います。

- ・市民一人当たりの単独補助金が異常に高いが、内容を精査し、必要なのか見直しが必要と思います。
- ・自治振興区、振興公社、連盟等など、バラバラに補助金を支出していますが、庄原市の町おこしのテーマを掲げ、テーマにそって補助金を支給すべきではないでしょうか。経営改革の観点に立つと余剰の人員があるのではあれば、減らすことより活用する方向を取るべきだと思います。
- ・補助金の見直し。しっかり吟味してから、確定してください。
- ・合併以前から合併後、補助金を一度出せば、大小に関わらず出し続けた行政。補助金がうまく使われているか見直すことが必要ではないか。
- ・市債が順調に減っていることは評価できます。このようなアンケートで、今、行っていることの効果が市民に知られれば、より協力できると思うので、新聞のない人やTVをあまり見ない人に対する情報提供を行って欲しいと思います。
- ・県内でも最も多く補助金を受けながら、自主財源が増えていない。入ったお金を市内で循環させるしくみが必要であると思います。いつまでも、もらえるという甘い意識があるのではないのでしょうか。施設を建てても、元請けは地元としても、下請けが外部だったり、地元へ残るお金がわずかなためではないのでしょうか。事業を安くではなく、将来、お金がちゃんと残ることを重点としてほしいです。

【行政組織など】

- ・支所は重要でなくてはならないが、業務は本庁に集中しているのではないか。窓口は支所であるが、通常の用事はどこでもできる。1.支所としては、高齢者への対応(本庁まで出向けない) 2.苦情、困ったことの相談(地域の把握・実情がわかるため) 3.本庁・支所間は、インターネットで接続されているため支所としては、受付だけになるのではないか。 4.本庁に課だけで多すぎる(部制が必要では)
- ・みんなで頑張りましょう。不安だらけですが、窓口は、安芸高田市みたいにすれば良いと思います。
- ・課名なじめず…もっと市民に親しみやすく仕事内容もわかる課の名にしたら。
- ・行政組織の特に課や係りの見直し。新市政に期待しています。
- ・支所の合併(例:高野 + 比和)
- ・6支所の職員数をもっともっと減らしてほしい！
- ・希望的には、6町に(支所)権限をもたせて(事業によって)活性化していくといいと思う。本庁がすべて権限をもっているように思える。支所の職員が「生き生きさ」が見えない。自治振興区とスクラムをくんで、今後、いけたらもっともっと活性化していくのではないだろうか？市自体がこうでなくてはいけないのではなく、それを飛び越えた施策や全国にはないようなことをやって、庄原市という名を全国に広めて集客等をまずは増やしていけば、そこから又、見えてくるものがあるのではないだろうかとも思う。
- ・長距離職員異動なんのメリットもなし…支所の職員の名前も顔もわからず。
- ・全てにおいて各支所でできないことが増えていると感じます。もっと地域のことをみてほしいです。病院や放課後児童クラブなど、もっと民間に移ってでも充実してほしいです。

【市職員関係】

- ・県立大学があり、若者の庄原に卒業後残りたいと思えるような、まちづくりが出来ていない。(活性化ができていない)収入が少なくなれば、支出を減らすのはあたり前で、市民の負担を大きくする前に職員、市議の給与を削減することは、大事ではなからうか。市職員の給与と一般企業の収入に差がありすぎる！
- ・市職員の給与をもっと下げるべきだ。職員数を減らさないで…
- ・国・県・市・町・村が赤字なのに、自治体で働いている者にボーナスを出すことは何事か？
- ・業績の悪い会社は、社員の給料・ボーナスが減る。役所は減らない、おかしいのでは！
- ・人件費の見直し。
- ・職員給料の見直し、高過ぎませんか？
- ・当然、市の事業縮小は、避けられない。その中で、すぐ出来るのが支出の抑制である。まず、人件費を下げるべきで、先の大合併も一つの目的は、そこにあった訳で…だから本誌資料1は、努力結果とは評価できない。更に人件費を下げ、現状の職員数を維持するのは、なかなか大変なことと思う。率がラスパイルズ指数ではなく、市内勤労者の平均との比較が必要で公表し、結果的に市職個々の給与を調整(引き下げれば)すれば易く実現できるのではないのでしょうか。市職の給与水準が市民と同じレベルになったときには、市民は市行政の総てに積極的にかわり参画すると思う。
- ・相談しても対応が悪い。市民をもう少し大切にしてほしい。行政はそれからです！
- ・もう少し職員の対応がよくなればいい。一階の窓口は、大変いいと思うが何が気に入らないのかと思うような職員がいる。
- ・市民のための行政であることが一番。窓口での出来事、前の人は時間ぎりぎり、その人は時間がきたので、明日に来てくださいと言われたそう。職員がいるのに忙しく仕事をすませて行って、出来なかったとのこと。何故？今日はいいですが、今度から何時までですよ、言えなかったのかと思った。誰のための行政、小さなことから…
- ・本庁に行った時に、分からないことがあって質問した時、対応が冷たく、感じが悪かったので(他にもそうい

- う話を聞きます)公務員でいるかぎり、そういった所も気をつけてほしい。まちづくりの前に、市民の信頼を得る方が先かと…
- ・職員も上から目線のような対応や言い方をする人もいて、意識の見直しが必要じゃないでしょうか。市民のことを考えて働くのなら、まずはそこからでしょ！
 - ・市役所の職員さんのミスが多い。今年度になってからも2件ありました。気をつけてください。(農政と税務)
 - ・新庄原市は、市民にとって全てが悪くなっている。市職員は、公僕としての意識がなく、市民への態度が高圧的で責任感がない。市の施設(田園文化センター・市民会館他)は、元市の幹部職員の天下りではなく、公募とすべき。
 - ・職員もある程度外に出て人と人の会話がほしいと思う。
 - ・アンケートとるにも、職員が直接住民と接し、苦言も情報も「生」の意見を体で感じてほしい。このアンケートはほとんど意味がなく、経費のムダ使いと考えます。でも、職員さんには頑張ってもらいたい。また、感謝もしています。
 - ・本庁の人数が多く、地域に即した声が届かない。支所の人数を増やし、地域住民とコミュニケーションを取ることが大事。地域行事やボランティア活動など、市役所職員は積極的にやるべき。している地域としていない地域の職員の熱の差が大きい。
 - ・積極的に市内に出向き、住民と対話の出来る時間のある気持ちにゆとりのある職員体制をつくりだしてください。
 - ・職員数は、まだまだ削減可能で、人件費総額も下がる。行政経営改革は、市政関係者(職員を含めて)が自ら身を削る事より始めるべし。
 - ・職員数多いです。支所の仕事などまったく見えず、市民でありながら支所(もちろん本庁)に電話を含めて行ったこともなく、電話したこともなし。(3年以上も)
 - ・職員の意識改革(誰の金で給料をえているのか、もっと…)
 - ・行政経営改革を行える、スキルの高い人材を雇用すること。今のレベルでは、むずかしいのでは？
 - ・職員の意識改革をし、市民のために働くと思って欲しい。
 - ・市職員さんも一般企業の人たちに比べると、質が低いように思われます。意識改革が必要だと思います。
 - ・一部の職員にタバコのポイ捨てや、スリッパの置いてあるトイレにスリッパを履かないで入るなど、当たり前でない職員が、ごく一部ですが見受けられます。改革と平行してやってください。
 - ・東京都の人材をおかりして、職員の能力向上へ指導してもらおう。
 - ・継承・維持・継続型かつ、提案・変革・実行型職員へ
 - ・報奨と責任の明確化(覚悟が必要)
 - ・まだまだ、職員の意識改革が必要。住民目線で仕事をする者が少ない。しかし、やる気のある住民目線で仕事をする職員がいるのは事実。目立てないのは組織でつぶす。前例にとらわれすぎる職員が多いと思う。
 - ・職員の意識改革、能力の向上を特に希望します。仕事は迅速かつ正確に。
 - ・今春、子供が進学するのに教育支援制度について、本庁に聞きに伺った時、感じたのですが、市の扱われている制度について、説明して頂きましたが、たとえば、県の扱われている制度については、県じゃないと、わからないと言われました。そして、わからないなら県に聞いていただけかなと思っていて、そういう対応はなく、話が終わりました。もっと幅広く情報を知っておられた方が市の職員の方はいいと思うのですが、いかがなものでしょうか。
 - ・サービス向上。親切なところがけてほしい。
 - ・職員の方々に意識改革は、是非進めていただきたいが、現在の状況に不満があるということではない。
 - ・職員数を減らすことより、その職員が何が市民のためにできる施策に参加することで保持できるのではないのでしょうか？接遇の面とか、きちんとしてほしいところはあります。市役所に行き冷たい感じをうけます。サービス精神をお願いします。
 - ・職員の考え方を見直してほしい。市のためにがんばってほしい。
 - ・行政改革以前の問題として、昼休憩の時間を守ってください。1時がきているにもかかわらず、ぶらぶらと庁舎に入っていき姿を見ると税金で生活しているという意識に欠けています。特に年長の人が多い。たまに市を訪ねるとき見るのだから、毎日の事だと思います。私はそういう職員の教育から始めることをお願いします。
 - ・どのような仕事をされているか、具体的にわからないので、職員数がどうなのかはわからない。ただ、職員の質の向上(意識改革、能力の向上)は、目指して欲しい。できない人が何人いても仕事はできないので。物事を正しく見れる力があれば、いろんな制度を考えたり実行できると思う。
 - ・もっと自分達の事に気付く事からだね。まあ変えて下さい。住民意識や顧客という視点からスタートしては？”いらっしゃいませ”は、言うべきですね。いつも思う。ほとんど出来ないだろうけどね。ゴミ袋は高すぎだわ。マジで。図書館の新書少なすぎ。古ぼけた本ばかりいらぬ。新書は増やしてほしい。
 - ・問6の脚注にもあるように市民に対する職員数が多い。市役所本庁・支所・関連施設(EX図書館etc)を見ても、
 - ・市の職員さんで、わからないことがあり、仕事の件で問い合わせると、自分の仕事ではないと返事があったと耳に入り、残念です。
 - ・小企業では、昇給、賞与はありません。ましてや退職金もありません。私もその一人でした。市の職員の方も企業で働いて、その収入分を市の収入とするくらいの気持ちで働いて、ください。
 - ・職員の中にも、あいさつが出来ない職員が多いと思いますが、もっと職員の一一人の意識がたりないのでは。

- 民間企業の社員に比べたら市役所職員は仕事をしていないと感じる(小生、一部上場企業で定年を迎えUターンしたため、自ずと民間企業の職員と比較してしまう)市職員の自覚不足というか、役所全体を通しての厳しさが欠如しているというか「給与分だけはしっかり仕事をしろ」と言いたい。
- ・職員の意識が低い。取り組みスピードが遅い。要望には、何かしようという気持ちではなく、何とかできないようにするには、どうしたらよいかばかりを考えているように感じられる。要するにやる気のなさが目立つ。やる気のない人と協働してもダメだと思う。やる気のある人を職員として採用してほしい。(入ってからダメになるのかもしれないですね。)
 - ・職員の対応がダメ。どこのサービス業よりも一番の笑顔、接客でなければ、いい印象にならない。職員が暗すぎる。公僕ということをおぼえているのではないかと地方自治体ではなく、ただの国の執行機関になっているだけ。
 - ・職員数減より、給料減らすべき。
 - ・少子高齢化が進んだ現在、町づくりは、地域づくりからはじまる。市職員さん(若者)は、もっと地域の行事に積極的に参加すべきです。地域の文化、観光施設の整備、特に旧庄原地域は、出来ていない。
 - ・三日市、九日市等、民間が行っている定期的催しものがあるが、それに対して市として、もう少し盛り上げるようバックアップがあればと思います。九日市にしても昼休み時間に市の職員が通りを歩いている姿など見た事がない。距離的にも、そうは離れていないので、その気があれば充分に見て回れる所にある。補助金を出すとかが運営に人を当てるとかあるが、その行事にお客として参加をして、盛り上げるという方法も考えられる。
 - ・市長、議員、職員ともに緊張感ある行政の遂行を望む。
 - ・現在の庄原市は、職員削減 サービスの低下等につながっている。対策を検討してください。
 - ・臨時職員の採用基準がおかしい。
 - ・行政も住民も権利と義務のバランスを考えて行動して(取り組んで)いく必要があると考える。例)住民:納税の義務や規則(法令)等をきちんと守る行動(責任のある行動) 行政:全体の奉仕者として、公務員としての自覚を持ち行政執行に携わる(責任のある行動)
 - ・職員の削減
 - ・市民から信頼される自信の行動をよろしく。
 - ・職員数について、現在の業務に関する価値観、取り決めであれば必要人数かと思いますが、まずは、その常識観を取り崩す事が大事では。文書一枚を見ても、どれくらいのエネルギー(コスト)がかかっているのかと思うと情けない思いです。心ない自己責任感の無い人達のクレーム等、意に介さず信念を持って行財政改革を進めて頂きたい。また、あらゆる課題について「選択と集中」で効果的な結果を出して頂きたい。
 - ・役職が高い人が奥に居るのではなく、市民に近い所に居て、その課の総合サービスをする位に発想を変えた市役所であればいいなあと思ってます。
 - ・市役所退職者(公務員)の方々に市の施設の運営、指導のサポートをしてもらう。市役所ロビーコンサートに関して、平日、本庁に行けない(勤めているので)ので、時には日曜日にもしてもらえないですか(市民会館などは、料金が必要ですが無料なので)
 - ・役所の中が楽しくなかったら、市民も楽しく過ごせない。頑張ってください。
 - ・昨年、夏休み市の職員の方が、スポーツ少年団の指導者という重要な立場だったせいか、スポーツ少年団の指導をされる為、午後から有給をとられて活動されていたという状況に遭遇しました。熱心に指導され、それに応じた結果も出て頭が下がる思いもありますが、せっかく、市の職員であられるのだから、もっと市の為、住民の為に業務に徹されても良かったのではと思いました。
 - ・マニュアル化された業務も大事だと思うが、いろいろな場面(ケース)に臨機応変な対応が求められるので、是非とも、職員の興味ある分野を尊重して配属してもらいたい。あと、何か産業が軸となって財政を向上していける仕組みを考えていけるといいと思う。
 - ・市が変わるとは思えないけど、少しでも年金と同じで公務員と一般の差を考えると誰でも?
 - ・高齢者が多く、地域が広大なため支所の果たす役割が今以上に必要。適切な人配を望む。
 - ・市の職員の数など、一般市民には判断がつくわけありません。市民感覚で、減らせとなるだけだと思います。必要なら増やすべきだし、不要なら減らせばいいだけです。市民に聞くこと自体が、おかしな話だと考えます。
 - ・無能な職員はやめさせ、有能な者をおいて欲しい。対応の悪い職員が多すぎる。分からない者をおいても、進まないのだから各部署わかる人を必ず一人は置いて、部署異動すべきである。
 - ・行政内部での地域内派閥は、いうに及ばず…見ていて情けない。
 - ・当方、慢性的持病があるが、保健師の訪問を受けたこともないし、何をしているのか不明。職員として必要ない。
 - ・組織の縮小など消極的なことに重点が行き過ぎて、職員一人一人のやる気を削ぐ形となるのが市民として最も残念である。
 - ・市民のために無償で仕事をしている市職員。きちんと手当をつけるべきだ。
 - ・公務員の給与を公開すべき。
 - ・市職員は、市民の手となり足となり足とならなければいけないのに、手・足を引っ張っている。(高い給料・ボーナスで)

【税務関係】

- ・税金の未納金なんて意味がわかりません。とりやすい所からとるのはやめて、きっちり集金して下さい！
- ・未集金の額がすごいにおどろきました。企業と協力して防止すべきです。
- ・税の滞納者にもっときびしく。収納率が低いのは、職員の怠慢である。
- ・現在、市民税は、近隣より高額であるにもかかわらず、市民へのサービスは低下の一途。そもそも市内(旧市内)に産科がないのは、おかしいと思う。子供も満足に産めない市へ定住しようとする若者夫婦はいません。現に知り合いでも庄原出身者だが、不便なので三次市に住んでいる人も沢山います。
- ・働く者、一人一人の納税負担を減らすべき！10万20万を必死に働き、収入として持ち帰っても納税、税の支払いにより生活は苦しくなるばかりで、まったく楽にならない！日々、食べていく事だけで、まったく楽にならない！日々食べていく事だけで精一杯の人もたくさんいるのです。(高齢者ばかりがしんどい訳じゃありません。)

【情報通信関係】

- ・ひかり通信の早期整備を希望する。
- ・(意見は)ありません。意見あってもできないでしょう。なににしたいでしょう。光ファイバーしていたら、パソコン・テレビ等できて映るのに全庄原市がよくなっただろうにね。なにもしなかったのに今さらアンケート出してどうするの？なにになる？
- ・ケーブルTVをする事。ゴミ袋の値段高すぎ。他の市のように値段を下げる事。窓口は、人が来たら、いらっしゃいませとか言うべき。顧客への意識なさすぎ。もっと企業を誘致する事。スタバとか大手の企業を誘致してほしい。佐賀の武雄のような図書館とスタバの誘致のような事をしてほしい。改革の意識なさすぎ。怠慢ですよ。発信力なさすぎ。こういう意見を書いても出来ないとか、やらないは怠慢ですよ。
- ・若者定住のため、ネット関係を早急に整えてください。この時代にインターネットができないなんて考えられません。近くまで来ているのにどうして田総の里まで届かないのでしょうか？
- ・インターネットの光回線を通してほしい。
- ・定住促進や企業の育成・誘致を進めるためには、超高速情報通信網の整備は待たなし。
- ・へき地ほどインターネット情報が必要ではないか。
- ・周りの市町村は、光ケーブルや三次市のようなケーブルテレビなどの整備がしてあるので、庄原市も両方とは言わないが整備してほしい。
- ・光通信網の整備
- ・インターネットがつながりにくい。
- ・いつもお世話になりまして、ありがとうございます。他県は、光ファイバーが付いていますが、庄原市も一刻も早くしてほしいと思います。
- ・テレビ難視聴地域にあり、このたび市とNHKの多大な助成で地デジ対策を講じて頂きました。ところが当初から時々受信が、とだえることがあり工事業者に事情を伝えてきましたが、原因不明のまま1年以上すぎました。先日このことを支所の担当部署に相談、しかし既に市の手は離れており直接、当事者がNHKにとのこと。NHKでは、それはデジサポへと言い、デジサポでは、確たるデータがないと対応はできないと言う始末。結局、業者にデータを取り直してもらいブースターの故障と判明。修理代5万円程かかるとも・・・受信料をまともにとられ、国の多大な費用を投じて工事をされ、その器具が欠陥品(その可能性)で更に修理代をとられる。どうも不条理です。しかも、ここに至るまで次々とタライ回しされて行き着いた結果です。自己責任と自己決定は統治能力をもっていて、はじめて可能で誰でももち備えているとは限りません。せめて支所にマネジャーの能力をもった人がいて頂ければとつくづく思いました。
- ・今は携帯電話の時代ですけど、家で使えない地域があるけど、その辺を考えてほしいと思います。
- ・フェイスブックなどで市民から意見を聞く。

【広報関係】

- ・生活の最低限の所は変えずに他を変えていくという発想が必要では？もっとツイッターとか生かして発信力を持てば？イベントしか書かないツイッターなら無視されますよ。住民との距離感、離れすぎ。ふれあい広場って言うけど”ふれあってないから”ふれあい広場って言うんだよ。気づけよ。配置換えをしてから、人を減らすことを考えたら？減らせばいいってもんじゃない。
- ・広報紙・・・あんなたいそうな記事(?)はたして、どれだけの市民が端から端まで読んでいるのか？理解できるのか？
- ・市のHP(ホームページ)つくっているのなら、ちゃんと更新して下さい。また、市役所の担当部局の電話番号をのせるだけじゃなくて、情報発信の場として、もっと活用すべき。チラシのPDFをつけられれば、いいってもんじゃない。
- ・市民が行政に意見する場をもっとつくるべき。市役所の職員の方、頑張ってください！
- ・地区の意見や個人の意見を十分話す。聞いてもらえる時間があればと思います。市民アンケートも一つの

- 意見とします。ぜひ庄原市の発展の為にご理解できます様に。
- 市民に行政の声をきいても、なかなか取り上げてもらえない。

【自治振興区・自治振興センターなど】

- 各自治振興センターの廃止。以前のように自治会と市役所を直結させること。それで、補助金を大幅に減らし、住民税を減らす。自治振興区がイベントで人を集めをし、法人や営農集団、又、会社勤務等、大切な時期に会議や商工会や福祉がするようなイベントを行い、ミニ市役所のような気分で、大事な生産能力を犯している。
- 自治振興区もいらない。市がすればよい仕事を市民にさせている。老後をゆっくりすごしたいのに色々ひっぱり出されてヤレヤレまだまだ甘い甘い！
- 日常生活環境などについては、自治振興センターの皆様の活動で穏やかに暮らしています。ありがたいと思いますが、助成金を目当てに活動する感じを受けます。
- 補助金を出しても、その効果検証が十分にできていない。このまま補助金を出すよりは、その財源を使って人づくりをしたほうが効果的。専門家等を派遣し、農商工の経営能力、自治振興区等の地域マネジメント能力等、まだまだ向上すべきだと思う。
- 行政が市民のために一生懸命頑張って下さっている事が良く分かりました。経営改革になるかどうかよくわかりませんが、自治振興区への助成金がむだ使いをされている地域もあるようです。高齢者も増えて来て、なかなか地域のまちづくりの水が末端まで流れるのは、難しいですね。
- 自治振興区(自治会)への仕事が多く、高齢化の進んだ地区では、自治会を出るといふ人さえおられます。行政の若い力で地方を助けてほしいと思います。
- 自治振興区への投げかけが多すぎるのでは、ないでしょうか？私たち一般人に協力して下さいと。色々あるのですが参加する人は、私を含め沢った人ばかり。私個人の意見としては、地域の負担が多すぎる様に思います。
- 高齢者ばかりで地域の役が多すぎて不安を感じます。
- 自治協働のまちづくり、基本的には良いと思うが、最近、自治振興センターを通じて、業務が流れてきて、役員は相当苦労している現状あり。あまり体力のない団体に無理を強いらぬよう、お願いします。
- 庄原市の改革の前に自治振興区をもう少し考えてほしいです。役員の冷たさや、気に入った人には、お茶を出したり外の人には、ろくに挨拶もしないような事務員では、だめです。
- 自治振興区のありがたさをもう一度見直してほしい。自治振興区の職員の態度。振興区女性部役員は誰でも行きやすい場にしてほしい。声かけができていない。
- 現在、それぞれの自治振興区は、一生懸命、住民が知恵を出し合い活動していると思います。時々、これらのフォローをしたり示唆をお願いしたい。ほとんどの地域で高齢者や、それに近い人が頑張っていると思います。積み上げた経験もそれなりに良いのですが、新しい風も得ることが出来ればと思います。具体的にはちょっと言えないのですが
- もっと住民の意見を聞く 自治振興区を通して
- 自治・協働のまちづくりについて、自治振興区に市の業務を委託していくことは反対。不必要な里山公園への助成金や役員の飲み食い、参加する者だけが恩恵を受ける運営など取り組みの仕方に納得できない。予算の使い方も(決算報告)当初の計画とは関係なしに全く別の分野に使った(流用)報告が配られ驚いている。市の乏しい予算をむだ使いしている。
- 私は以前から、趣味などの集まりによく自治振興センターを利用させてもらっているのですが、冷暖房をフルに使用させてもらっているのですが、使用したときに少しだけでも利用料金を徴収した方がよいと思います。
- 偏った意見だけを聞いたりせず幅広く聞くべき。一つ今の自治振興区の施策が元職員の天下りの受け皿となっている。役員、事務局体制が物語っている。だれも参加できない体制、一部の人がするべきでない。
- 若い者が働き、家族を持ち暮らせるまちをつくる必要がある。また、各自治振興区での活動の活性化、特色ある取り組みが住みやすさにつながると感じ期待している。
- 高齢者の占める割合の高い市であり、税収入は見込めない。そのため、相互扶助で市民一人一人が助け合う必要がある(行政ではなく各地域の組織を活性化する必要あり)

【生活交通・生活安全など】

- ひまわりバスの運行を見直してほしい。
- 三日市の無料バス運行が決まりましたが、そのバス停まで出るもの遠くて大変です。その他の方法は、ないのでしょうか。
- 市内循環バス料金の値上げ。利用の少ない路線の効率的運用
- 路線バスの日曜、祝日の運行を見直してほしい。時間帯が悪すぎる。高野から三次方面の病院に行く人は困っている。

- ・地域にはバスが必要！
- ・車がなければ生活できない地域が多くあります。乗れるうちは、良いのですが、乗れなくなったときは、大変困ります。乗れなくなっても安心して生活できるよう、バスなどの移動手段を充実していただきたいと願います。
- ・交通機関の充実
- ・西城では、雪深く山の上や中の地域で、高齢の方が増えて、車の運転ができない方がどんどん増えていきます。ご高齢の方が朝バスに乗って、昼にはバスが無く夕方まで困っています。たまには、庄原まで出たくてもジョイフルなどには何年も行っていないとおっしゃっています。お金は有るのに使う機会が無いそうです。何かいい案がないですか？
- ・年々、高齢化し、交通の便が悪い地域に住んでいる者は、何をするにも不便を感じる。障害者には、タクシー券が与えられ、おでかけ支援隊等が利用できるが、そうでない車の運転の出来ない高齢者は、足がない。行事に参加したくても、町中へ外出もままならない。今はまだ車の運転ができて、いずれ出来なくなり、病院へ行くにも不便になると思うと不安。
- ・高齢になると、どうしても病院に通院する回数も増えて医療費も増えてきます。70歳以上になると少なくなっている面もあるのですが、他市に通院するとなると公共の運賃も結構かかります。元気がいいのですが、病気になったらと不安が大きいです。年金生活ですので・・・
- ・休暇村(帝釈峡)へちょっと行きたいけど、車の運転ができないので、タクシーは高いしバス便はあるんですか？
- ・年金生活の60代、70代の一人暮らしの人間にとって、車の運転が出来ないということは、とても不自由です。(60代女性)

【環境衛生関係】

- ・環境への意識向上へ行政がもっと啓蒙活動をしてほしい。例を挙げると、家庭内のゴミの野焼き、犬のフン、ゴミの不法投棄、ルールを守らない人に対して、行政が指導、取締りの徹底をしてほしい。
- ・三次市のゴミ処理方法及び料金収集方法など見習ってほしい。(衣類もリサイクルで無料引取り、大型ゴミの収集方法など)
- ・犬を飼っている人に注意してください。家が離れていないので、一日中、家に居る人にはかきません。犬を飼っている人は、昼、勤めているので・・・
- ・その他の紙類を入れて捨てるゴミ袋を作ってほしい！いろんなサイズの紙資源があって、リサイクル紐でくくるのは、むずかしいので、燃やせるゴミ袋へつい入れてしまう。ということは、それだけ燃やすゴミが増えることとなるのでは・・・
- ・ごみ置き場に屋根をつける。(東城地域)

【高齢者福祉・高齢化対策など】

- ・東城に居住しております。老人施設が少ないため、申し込みしても何年も待たないと入所できません。利用されていない公共施設を利用して、老人施設を作ってほしいと思います。働く所も出来ていいのではないかな？
- ・高齢者が多くなっていくので、古い学校を基盤整備していただいて、住みやすく安心して生活がしたいです。
- ・高齢者の医療費を含めて、福祉系の出費をおさえる努力をすべき。病院へ行かなくてすむように、健康づくり・スポーツ関係の施策を充実させるべき。(生きがいづくりを含めて)病院へ行く 保険料がかかる 自分の孫や子どもが払うという流れを知ってもらうのも必要。各地区の中の班など小さな単位から意識をかえなければならぬと思う。
- ・70代後半の男性ですが、まだ、一度も介護をもらった事は、ありません。年金生活なので、介護保険料が多いので、見直してもらいたい。
- ・訪問ヘルパーの利用のあり方も考えさせられる。理解できない。週何回も利用されているけど、畑の仕事をしたり等など出来る人への訪問。事業所のしつこい訪問も耳にする。老人の自己負担を増やすこと。自分出来ることは、なるべく自分でやる。それが自分のリハビリだと思う。福祉のあり方、介護保険料が高くなる原因の一つ
- ・高齢者が安心して歳を重ねる様に願う。働きざかりの若い人に負担がかからないように歳をとりたいが、老人ホーム等の施設にもう少し簡単に入れる様に。聞く限りでは、色々条件があるそうで、むずかしいそう。
- ・国民健康保険税及び介護保険料が高額であるが病気予防及び介護予防に行政として力を入れ、病院への受診、介護施設への利用をおさえる努力をすべきと思います。(個人負担が多額である)
- ・国の方針とはいえ、国民年金生活者にとって介護保険料は高いようで、これから先行きは不安です。
- ・庄原市は、いかにあるべきか。高齢化の進む中、高齢者が安心して居住できる市づくりにする必要あり
- ・高齢者が終末まで我家で過ごせるためのサービス
- ・高齢化社会になりつつある方向です。その対策を含めて医療・介護等の充実も大切ですが、その方たちを支援できる職場、働く場をしっかりと、もうけて頂ければ定年・定年後も安心して生活できると思います。自分も家族もいつ施設にお世話になるかわかりませんが、もう少し安く利用できるよう、願います。

- ・厚生年金を若いときに頑張っ、百姓と仕事(会社)と一生懸命にかけて来て、老後は安心だと思っていましたのに、現在、72歳になった今、あまりにも少ないのに残念でなりません。どうかして下さい。頼みます。
- ・昭和21年から23年生まれの子だくさんが高齢者になります。若い頃は、年配の方々の生活を支えてきました。年金をもらうようになった今、介護保険は、高く年金は少なくなり、医療費は高く検査をして頂くと高額になり、病院にもあまり行かれませんか。食費を削るしかありません。しょうもない意見かも知れませんが、これが現実です。人のことを考えている場合では、ないのです。自分がどう病気せず、子供らに手を取らず、ポックリ死ねるだろうかと毎日考えるばかりです。物価も上がり、ますます、生活が苦しくなるばかりです。テレビが友達です。何の楽しみもありません。孤独死だけは、したくない。
- ・アンケートとは無関係ですが、とにかく山間部に住んでいますので、何もかも不便です。高齢で一人暮らしで、国民年金だけの収入で先が思いやられます。
- ・将来的に福祉が必要となる時が、今60歳以上の方、不安が一杯ですが、安心して家庭又は施設で過ごせ、お互いに助けあひながら、団塊の世代を今、活用し、安心して死にたい施設、介護現場がほしいです。
- ・預貯金等を多く有する者についても十分な福祉サービスが実施されている(公簿上は所得無でも)真に所得のない者、またランク付において、わずかな金額の差で多くの負担をする者にも目を向けてほしい。これは、施設利用、医療費の自己負担に多く見られる。個人情報に盾にされると預貯金の調査までは無理でしょうか。
- ・私は、あと2・3年で60歳になります。現在、働いていますが、将来の不安感は年をおごとに強くなります。私と同じ世代の人々、同じ環境の人々は、どのような思いで過ごされているのでしょうか。アンケートの内容を選択するのに性別・年齢・職業別・家族の状況によって大きく異なります。「将来どのような町に住みたいか」「私たちの町がどのように発展してほしいか」は、市民である私たちが自らのこととして考え、参加していこうとする思いが必要です。
- ・高齢者が多いので、少子化で医療費の無料に力をそそぐより、高齢化に対してのバスの事や支援や福祉もあるし、病院のこともあるし、そうしたら若者の雇用も少しは出来るし、本当に庄原市をもりあげてほしい。
- ・敬老会の実施について、自分で、家族で、お仲間、敬老会にお招きいただきありがたく存じます。でも普通の福祉行政・高齢者対策に加えて、自治・協働・助け合いで充分満足しています。敬老会に市費が使われているのでしたら、この経費をぜひ、学校教育の充実に使っていただきたく思います。経費も事前準備も当日の人的ボランティアも大変なご苦労と思います。
- ・年々、高齢化、一人暮らしの家庭が増すと思います。他の機関との連携を取れるような相談窓口が増えたり、ボランティアさんの支援が必要になると思います。社会的弱者、高齢者に手厚い福祉行政をお願いいたします。
- ・高齢者福祉施設：待機児童ならぬ待機老人が沢山います。
- ・高齢化時代により、各地区のスミまで、時間くぎりの音が耳にする(チャイム音など)ことが出来れば幸福に思います。
- ・私は、後期高齢者の一人です。何時も何かとお世話になっております。大変、感謝致しております。色々高齢者用の会をつくってください、本当に心からお礼をいわせて貰います。そんな高齢者用の会から、とても元気を頂き物事をプラス思考に考える事が出来る様になりました。本当に有難うございます。今後ともよろしくお願い致します。
- ・東城町には、他の土地に負けない素晴らしい宝がある。それは、町の中心を流れる有栖川(成羽川)。町をぐるりと囲むやさしい山々と自然の樹木が大きく残る城山。川沿いの家並み山本鉄工所の工場のおもむきある景観、川沿いの桜並木の美しさ、私はリターンした後、はじめて、この町の美しさに気がきました。空気もきれいでおいしく水道水もおいしい、この町。すでに持っている、この土地の財産を生かした町づくり、産業育成、誘致をすべきと思う。例えば、桜の植樹に力をいれ、川沿いの桜並木を川上～川下まで、若返らせ町のシンボルとして整える。そして、この桜並木沿いに大型の介護施設を作り、遠くは大阪、神戸そして、岡山広島等の都市部から入所を受け入れ、自然を楽しみつつ、かつ、町の生活感をもちながら(トーエイ、フレスタ、小学校、中学校が近く買い物も楽しめる、学校の運動会や町のお祭りも楽しみ、花作り、野菜作りもできる)こんな、老後生き生き暮らせる施設ができればいいのになーと思っています。町内には病院はいくつもあり、連携して医療体制を取り組んでいくとよいと思います。部屋にいながら、桜の並木、川の水の流れ、城山の美しさが眺められ、町の中での生活も味わえる介護施設。きっと喜ばれると思いますがいかがでしょうか。

【障害者福祉など】

- ・障害者重度に対するの援助はたくさんあるが、6級などの低い人に対して、もっと援助はないのか？
- ・障害者が働きやすい場所がほしい。
- ・広島県内の区役所などは、知的障害者軽度の求人があるのに、庄原市は、身体障害者のみ求人がある。障害者をもっている親は、何歳になったら、この手続きをしてください。例)18歳になったら、障害区分20歳になったら障害者年金の手続き等を通知する方法を考えてほしい。成年後見人の説明会を開催してほしい。
- ・福祉補助として、支給されているタクシーなど、どうか審査は適正・厳正にされますように希望します。

【医療関係】

- ・人口を増が基本となるので、いままで以上に赤ん坊を増やすこと(若者に補助金を与える)と産婦人科、小児科の医師の方に手厚くし、医療面の充実を図り、若い家族の定住を増やす行政を将来に向け継続して欲しい。
- ・産科がないのがとても不便。総領から市内へのバスも少なく、住みたいと思えない。
- ・産科医の確保
- ・産婦人科や不妊治療の充実を図ってほしい。
- ・若い方の定住を希望しますが、産婦人科(子供を産めない)もない、小児科や耳鼻科など。安心して子供を育てる環境が整っていないのに、増やせるでしょうか。小児科は、日赤で夕方16時までしか受付てくれない。土日は、診てくれない。働いていて、庄原に住んでいる母親は三次まで行かなければなりません。保育所も古いです。
- ・産婦人科の病院が庄原市でもあることを望みます。
- ・合併して大きくなった庄原市。なぜ、庄原市では子どもが産めないのでしょうか？小児科、産婦人科を充実させてほしい。
- ・庄原で子育てを発信してほしいです。緑ゆたかな大自然、自然災害の少ない庄原。文化施設と子供の文化活動をすすめる街、大学のある街、このすばらしい環境の庄原で、子供を産み育てて欲しいと思います。大切な「幼児教育」は、庄原でと念じます。若い方の定住には、産婦人科が必要です。総合病院に産婦人科の常設を切に望みます。
- ・合併しているのに、庄原市には産婦人科(医)がないのは、おかしい。
- ・出産施設、産婦人科医の固定をしてほしい。
- ・医療も今後もっと充実してほしいです。
- ・周囲は、一人暮らしの高齢者や空き家が沢山あり、バスの便は悪く、タクシーや家族の送迎で家族の負担となる。(イベント時だけでなく無料バスとか)低収入にもかかわらず、多くの税金や車を一人一台という様なことで生活苦である。病院も良い病院もなく、三次や広島市内に通院しており、もう少し専門の医療があればと思う。
- ・病院の医師を増やす。待ち時間長すぎる。
- ・私は、高度障害者で現在、入院治療中ですが、退院をしなければならない様になったとき、次のどの施設で受け入れてくれるか不安です。安心して治療が受けられる様に対策をお願いします。
- ・農地荒廃地について、十分な取り組みをお願いしたい。医療について、現在、自ら体験していますが特定疾患患者が広島等へ治療に出向かないくても、地元医療機関で対応できるように医療設備等を考えてもらいたい。
- ・医師の養成(奨学金制度など、もっと積極的に行うべき)スポンサー
- ・日赤病院の建物が立派になりました。どうか、建物だけでなく、医師、看護師などのスタッフ人材も充実させてください。日替わり医師でないように。
- ・高齢者や車のない方が病院などに行くのに交通の便が悪くなったといつも言われている。
- ・小児科が無い(東城)のも少子化や地域高齢化の要因
- ・小学生までの医療費500円でなく、一番ケガをしやすくなる中学生又は高校生まで延長してほしいと思う。クラブにしても毎日あり、大会などで小学生よりケガをと思う。病院の通院費用が、かなり負担が大きすぎる。

【社会福祉関係】

- ・母子家庭？補助の必要ない人もたくさんいると思う。
- ・生活保護の人、お金振込みやめて、毎月、市役所窓口で支給すること。顔をみて働くことをすすめる。
- ・福祉の町、一番になればいいですね。

【子育て支援(医療関係を除く。)関係】

- ・安心して子育てができる環境づくりも頑張してほしい。最近、親にもいろいろ問題が多い気がする。親が孤独にならない、親も子と成長させることが必要
- ・少子高齢化への対策をどう考えているのか。若者の定着(定住)、就労など課題は山積みのことと思いますが、優先順位を考えてとりこんで欲しい。
- ・子育て支援にしっかり予算をつけて、少子化対策を本当に真剣に市議会へも提案して、少子化を食い止めて頂きたいです。ヨロシクお願いします。(市議会議員の給与も削減しても良いという声も聞きます。その事も賛成です。)
- ・少子高齢化は、他市と比較し50年先行しているともいわれている。この少子高齢化対策は、他市町の見本となる位の決意で取り組むべきであろう。
- ・子供達の未来に投資していただきたい。
- ・老人ばかりでなく、もっと若い世代に住みやすい街づくりをしてほしい。仕事をし、子供を産み育てていくことの

- 重要性を考えてほしい。子供を大切にしないと、この街は、どんどん廃れていくばかり。
- 若い女性が安心して働ける様に託児所を設けた職場が増えたら良いと思う。
- 職場は、庄原市内でも住居は三次市というような子育て世代の若者が後を絶たない。
- 子育て支援に力を入れて欲しい。子供の人数を増やす為の行政を行って欲しい。子供を産める環境を整えることに力を入れて欲しい。子供が増えないかぎり、大きな発展はない。
- 過疎を防ぐとか、いうわりに中味は人を増やそうとしていない。第1子が生まれ、かかる保育料が高ければ、第2子を産む気にはならない。他県や他市からも来られ、住もうと思わない。
- 問9: 全てあてはまると思う。福祉に金をかけすぎだから、老人がえらそうになって、世の中おかしくなっている。子供たちにもっと質のいい教育、保育をし、子育て世代に優しい取り組みをすべき。お母さんたちの働く場所や勤務条件を市がバックアップすべき。このままの庄原市では、将来、子供がいなくなる。
- あまりに老人中心の行政になり過ぎ、若者や子供の未来が不安。
- 保育料の高いのは、次に子どもが欲しくても難しいため見直して欲しい。
- 現在、子育てにとっても困ったり、苦しんでいる若いお父さん、お母さん方がいらっしゃいます。少子化になるのも、やはり、こういうことも原因となっている事と思います。しっかり子育て支援に力を入れて、保育料等も安くして、ほとんど無料にさせていただきたいと思います。又、公設民営になった所の保育所のトラブルも聞かれています。もう少し幼児教育に対して、真剣に取り組んでいただきたいです。
- 子ども手当で出すかわりに扶養控除(18歳以下)できないのは、なんで？みんな知らない事が多いし、市からは、あまり説明をしないので不快
- 子どもの事、障害者の事、親が情報入るよう、ちゃんとサポートして欲しい。市からではなく経験した親から情報得る事が多い。
- 出産(祝い)金を増やして欲しい。子供の多い家庭には、それなりの支援をしてもらいたい。
- 庄原市の人口がこれ以上減少してはいけない。本気で少子化対策を考えるなら若者の働く場、結婚し定住できる環境づくり、出産に対して100万円でも補助していきような取り組みを考えてください。
- 東城町に小さな公園がほしい。孫を見守る時、でかけるところがない。(車の運転ができないので)
- 庄原には、子供があそべる公園が少ない。公園の遊具を充実させてほしい。
- 新見市や三次市には、無料の大型公園があるが庄原市(東城地域)にないので、未就学児をのびのびと遊ばせる所がない。子供が育たない市に未来はないと思う。庄原市に育ちたい！庄原市に戻りたいと子供が思う市にしないと意味がないと思う。
- 子供たちが遊べる場所が少ない。
- 自分の子供がまだ幼い頃に市のアンケートをしたことがあり、ちょっとでも子供の遊べる公園が東城にもほしいと希望しました。運動公園には、それらしき遊具はありましたが、人気(ひとけ)のない場所にありまして、買い物ついでにちょっと寄って遊ばせようかな？とは思えませんでした。(考えて設置してほしかったです。)あれから十数年経ちました。
- 保育所の民営(保育士が市職員となっているが、職員数の見直し)
- 指定管理の保育所等が増えていますが、丸投げにするのではなく、市としてしっかり実状を把握して下さい。そこで働く人々の低賃金、過酷労働が子供達へ影響していることをわかっておられるのでしょうか。
- 保育所の民営化を考えなおすべき。
- なんでもかんでも民営化しない！特に保育所の民営化は、進めるべきでない！
- 庄原市の未来を担う、子どもたちを大切に育ててほしい。乳幼児期に心と体を育てる保育所は、子どもたちにとっても親にとっても、安心できる場であってほしい。指定管理の保育所が増えるのならば、指定先を慎重に選択し、指定先に対して市は、きっちりとした指針を示し、指導すべき。
- 税金を無駄に使わないで、未来の子供の為に施設を整えて欲しい。
- 保育所の定員を増やしてほしい。特に3歳未満
- 若い人が住みたいと思う、庄原市をつくってほしい。保育所の増設又は職員を増やす。

【定住対策など】

- 若い人が庄原で生活できる基盤・就労の確保、廃校利用。
- 子供がいる家庭、Iターン、Uターン者の支援、助成を強化してほしい。
- 若者やIターン者の人が気楽に住める住宅を作ってほしい。
- 若者が安く住める住宅の確保
- 若者が庄原市に住める環境を整えてほしい。
- 空き家が多い。ホームページ(庄原市)を見ても、住める物件はごくわずか。市営住宅が少ないので、空き家を活用して欲しい。
- 団塊の世代の我々にとっては、将来、大変不安を感じるものです。今の世代は結婚しない、子供は作らない。これでは、行政も経営改革にはならんだろう。人口は、年々少なくなっているようだ。我々の時代のように産めや増やせや、もう一度考えてみてはどうか。行政の中に人口増加あるいは、結婚させるための課を作ってはどうか。こんな事は、何年も前に行政としては考えておられるだろう。若者が市内から出ない出さないために知恵を出していこう。

- ・市や町のレベルでは、困難かとは思うけど、若者が定住できる環境にしないと、今後の発展は望めない気がする。
- ・若者、子供が増えるような行政を！
- ・若者が戻ってくる活気のある町づくりをしてほしい。
- ・地域の将来は、いかにして若者を増やすかにかかっている。その為の行政の積極的な支援・施策、そして定住できる環境作りを望む。
- ・若者が居つきやすい様に色々な分野において、検討して頂きたいと思います。
- ・若者が定住することなく、外部へ流れていく割合が多すぎると思う。結果、残っている若者への負担が増えていると思う。高齢者優遇重視よりも、若者が定住しやすい町づくりをめざして欲しい。
- ・若い人が少ない事
- ・若い人達が住みやすい魅力ある町づくりを推進してほしい。
- ・市内の若者が減少していく傾向は、やはりあると思う。今、市内に居る若者がより参加しやすく、楽しめるような事業も増えたら良いと思う。
- ・若者や子供たちが都会より庄原地域に住みたい！と思えるようなサービスを考えてほしい。例えば、子供を産み育てることができるアフターケアもしっかりしていて、遊ぶ所があり、保育園から小学校～高校へ行くまでスムーズにいける。待機児童なんかいない施設整備やお年寄りが自由に暮らせる老人ホーム、お金を沢山持っているお年寄り向けの一段サービスも施設もハイクラスなホテル並みの老人ホーム等あってもおもしろい。
- ・人口が増えないことには、「まち」が維持できない。とにもかくにも人口増が絶対必要。若い働く世代が住みよい「まち」にしてほしい。産まない、出て行くばかりの魅力のない「まち」に、これ以上ならないように働く場作りや子育てへの支援等どんどん取り組みを行ってほしい。県北には帰るが三次まで、という意見をよく聞くが庄原へ帰りたいと思うような「市」にしてほしい。
- ・高齢者よりも若者！若者の集まる場が少なすぎる。若者の集まれるイベントが少なすぎる＝(イコール)活気がなくなる＝過疎化。庄原市がダメなところ、飲食・建設他、競争相手がいないところ＝新しい風が吹かない＝過疎化
- ・若い人が住みたいと思う、街づくり。一度は、都会へ出て帰ってきたくなる街になればいい。
- ・青年達が安心して生活、子育てができるような職場、家などの生活基盤作りをしてほしい。青年達、高齢者も共に助け合いながら生きて行ける地域作りをお願いします。職員の皆様も大変でしょうが庄原市の皆様の為に頑張っていたきたいと思います。
- ・高齢者の割合が増えていくと思いますが、次世代につながるような取り組みをしてもらえれば、若い世代としてはよいと思います。
- ・若者が庄原市に定住できるような住みやすいサービス
- ・庄原市の人口を増やすための努力をしてほしい。(例えば、テレビですしているお見合いなど)
- ・TBSですしている「モテない」に応募して、独身男性の支援と庄原市をアピールしてほしい！
- ・若い男女が多く縁付くため、お見合いをイベントとして町おこしで食事をするところも、いっしょによその町から見合いに来てもらって町すべてで、もてなして庄原市すべてがとてもいいとこだから一度いらっしやいと小さな村ももっと元気になるよう、年寄りも若い人たちが多く来てくれるようかわいい年寄りになり、苦しまないで、みんなに好かれるよういいじいじ・ばばになりましょう。
- ・若者の交流機会が少なく結婚へと結びつかず、独身の人が増えている。よいとこ祭りなどへ自治振興区より参加をつのり、交流場所を広げることもよいのではと思います。
- ・若い人たちの定住による地域の発展と活性化について、他の過疎地域では、斬新なアイデアと行政力で「里山庄原」ならではの「魅力的な地域作りを行い、働く場と子育て環境等の整備」を行う必要がある。斬新で継続性のあるアイデアで定住環境を整え、若者のU・Iターンで定住された先進事例も多い。参考にしてほしい。
- ・高齢者比率が高い市だからこそ、若者の定住支援をしてほしい。10年20年後を支えるのは子供たちということをお忘れなでほしい。事業など財政面での見直しは必要だと思うが、短期的なものではなく、中・長期的なものもあると思うので、その辺も考えて整理してほしい。「子供支援の街」として成功している所(自治体)もあるので、参考にしてほしいです。
- ・定住促進＝人口UPは、庄原市の最重要課題であるが、定住促進だけでは田舎である庄原市に住むには、デメリットが多すぎる。商工業の発展、観光資源の発掘等で魅力ある町づくりと一体的になった事業展開が必要だと考える。
- ・人口が増えますように
- ・弱者の住みよい町になってほしいと思う。いろんな小さいイベントでも、何か出来ること楽しめるようにやる気(人それぞれではあるが)にさせるようなことがあればいいなと思う。こんなこと思う人は私だけかな。
- ・みんなが住みやすい町づくり 市民の意見をきく。町づくりの先進地域を見学する。
- ・比和町は、先々見通しが暗い(人口が激減)何とかして活性化の必要があると思う。このままだと、自分自身老後が心配な為、比和町から出たいと思っている。
- ・庄原市の人口増を望みます。

〔雇用対策・企業誘致など〕

- ・積極的な企業誘致や大規模な農地をつくり、株式会社による経営、製材業の振興を図り、外材に対抗出来る基盤をつくり又それによる発電システムを作る等、とにかく人口増を実現しなければいけないと高齢者の雇用を推し進める必要がある。
- ・若者の定住促進に力を入れていただきたい。せっかくUターンしても仕事がなく、また、庄原市を出るケースが多くあります。もったいない人材です。農林業で生活できる事業の促進を早急に望みます。若者の定住は、庄原市の未来です。ゴースタウンとなるのを止められるのは、木山市長と市職員の庄原市への愛です。市民がそれを感じられる行政を望みます。
- ・若者の働く場をつくる。工業団地をつくり企業誘致をする。
- ・地元の若い人、都会の若い人が就業できる会社をもっと誘致し、若者が暮らしてよかったと思う町にしてほしいです。
- ・企業誘致に力を入れるべき！働く事業体が無ければ、市の衰退の一途。市の誘致活動能力が無さすぎるのでは？
- ・定住促進に向けて、IターンやUターンの人に家賃補助や家を購入する際の補助金を出したりされるのは良いことだと思いますが、その前に"仕事がない!!"ということ若者たちから良く聞きます。帰ってきたくても仕事がない、それが若者の本音であり、それに耳を傾けなければ、後継者は次々と外に出て行き、帰ってくることはないでしょう。ハローワークのキャリアアップのためのセミナーも都会には、若者向けのものが沢山あります。庄原で働くために必要な資格や技能をとれるように支援することが大切なのではないのでしょうか。(介護や技術系など)
- ・働く場所がなく、若者が少なく活気のない街・発展のない街・暗い街・学力の低い街・美意識の低い街・心の温かみのない街であり住みたいと思わない街です。
- ・もっと市民のための行政が必要である！職場の確保！市民の働ける職場！
- ・人口の減少を抑えるためには、どうすればいいか考えるべき。就職先がなければ若者は市外にでるしかない田舎だから山の中だからとか、しょうがないからとか考えてるから、だめになるばかり。正直、庄原に住んでるメリットはないと感じます。まだ、三次の方が良いんじゃないかと思う。がんばって下さい。
- ・若者の働く場の確保・充実。市全体の活性化。市民が笑顔でいきいき暮らせる街づくりを望みます。
- ・子供の就職場所がなく、地元に戻って来てもらいたくても出来ない。
- ・企業(会社など)が安心して仕事が続けられる様にしてほしい。(リストラ・倒産がつきまとうので、不安心が出てしまう)
- ・地元の高校を卒業した人が一人でも多く、地元の職場で働ける場所の確保。
- ・若者が市内で定住出来るような企業の誘致
- ・若者が帰って来て働ける場所になってほしい。
- ・特に若者が希望を持って働ける(定住)町づくりをお願いします。
- ・広大な土地があるにもかかわらず、活用されていないのがもったいないと思う。現在、人口の増加が著しい東広島市のように若者が住みやすい環境を整備することが大切だと思う。庄原市は、就職先が少なく、賃金も安いので、若者が定住しにくい環境にある。今の現状を向上する為にも庄原市の良いところを積極的にアピールしていく事が重要だと思う。
- ・都会で働いていた若い人たちが地元に戻って、家から働ければ家賃等、助かるので、地元での就職をと思って働く場所がない。一度、定年退職された方々が又、働かれてても若い人はいないというのが現状です。都会で食べていけないので、地元でと思っててもなかなか就職できない。もっと若い人たちが働くことを考えてほしい。市役所の人たちも質が落ちていると思う。(他市に比べて)
- ・地域に人がいない状況が深刻化している。これ以上若者が減ったら地域は廃れる。仕事場の確保、企業の優遇策を講じて働く場所の確保が一番と思う。観光で人が来てても一時的なもので、永く続くものでもない。定住(若者)さえできれば地域も活性化する。永い目でみて地域人口増(増収増益)が必要
- ・田舎なので働く場が少なく、悪条件の中、働いている。別の仕事を考えても経験をいかせる仕事が少ない、遠い等の理由で転職ができず、「なぜ自分が庄原にいるのか」考えてしまうこともある。庄原にいる理由がないので、若い子は出て行くのだと思う。住む家よりも生活していく金が必要。補助金では足しにはならない。昔ながらの中小企業や家族でやっている有限会社が多い。家族ぐるみで必死で働いている会社や店もあるのだろうが、もうけにあった金額を従業員に支払っているのだろうか？給料カットの話は耳にしても給料アップの話は聞かないのは、どうだろうか？会社は、給料アップできない理由を説明できるのか？従業員は、納得できるだろうか？会社に不信をもちつつ、入社時よりも悪条件で働く生活では、行政サービスが向上しても、それに気付くゆとりがないのではないかと。型式ばった対策では、下の下の人までは届かない。ムダです。
- ・高齢者の雇用は2の次、充分年金をもらいながら給料もらっている。若者は意見を言わず、我慢して安月給でフリーターで働いている。若者に金をかけるべき。定住職場等
- ・ここ何年前から、道路は良くなりました。交通は良いのですが、職場がないので、若い人はいません。子どもの少ない年寄りばかりで、本当にさみしいです。なんとかありませんか。
- ・若い人が定住できる職場の確保へ努力を乞う。

- ・庄原市になっても(合併)生活もかわらない。私は、庄原で仕事があるが、息子は地元で仕事なので単身赴任で仕事をしている。家族と一緒に住める様な、若い人が働く事のできる事を考えてほしい。特に人口が減り、若い人がいない、子供のふえない、働く場所がないと、どんどん若い人はいなくなるのでは。
- ・若い人が帰って来られるような職場を増やしてほしい。60歳65歳で仕事を辞めた人が無理をしない程度で、楽しみながら出来るような職場があれば良いと思う。
- ・若者等の働く場の確保を行い、子育てができる環境をつくり、人口が減少することを防ぐ。活力のある庄原市を創る。
- ・働く場所の確保に全力を！今の状況では、15年先には人口は、半減する。止まらない。
- ・庄原にUターンしたい若者が都会には数多くいるのに、働く場所がないのが問題なのです。とにかく、若い人への支援が第1です。働く場所があれば、若者が増え、子どもが生まれ、若い人と一緒に高齢者も元気が出ます。市役所が中心になってください。
- ・生活環境が基本だと思うので、子供を持つ世代としては、以下を見直してほしい。1.雇用充実(産業の活性化)2.医療助成の拡大(中学生まで受診料無料化)

【都市計画・市営住宅など】

- ・私は、市営住宅に住んではいませんが、日本でも古いほうのワースト3に入ると思う。もう少し家賃を上げてでも取りが悪すぎる。知り合いが入っているので水洗もして？結論は、新しく建てかえる。
- ・現在、住宅に住んでいて、以前、支所の職員の方に自分の借りている家のまわりの草刈をするのは、当然だと思いますが、道端の草がのびきっていると話をしたら、一度、見に行きましょうといって頂きましたが、他の用事では、来られているようですが言ってくださったことに関しては、来られていません。お忙しいのなら、民間企業でされているところに、お願いされるなり、方法はあったと思います。
- ・庄原駅まわりを開発して、人が流れ込んでくるのか？商業が活性化するのか、みえてこない。
- ・駅前開発等、本当に必要なのでしょうか？困っている人もいます。
- ・庄原駅周辺をきれいにすべき。老朽化した建物が多すぎて、市のイメージが(他県より来られた方からも)悪いと思うのです。それから、他企業の導入も進んでほしいと思います。若い方の働く場所が確保でき、活性化につながると思うからです。
- ・市の中心地と呼べるような整備計画を考えてほしい。
- ・市役所通りポケットパークは良かったが、二階作りにして集会所を作れば良かったと思う。町中の集会所がないため、外の施設をかりなければならぬ。二階に集会所を作ってほしいと思う。

【道路関係】

- ・市道の草刈を自治振興区に委託していますが、金額が低すぎます。神石高原町などは、もっと高いです。地元やる気をださせる為に改善されては、いかかですか。
- ・東城庄原間における一般道の諸策を充実させて頂き、日赤病院へのお産医療へもっと考えるべきだと思います。
- ・病院関係は良く進歩していますが、付近の道路が悪く、車イスが自由に通れない。急いで歩道を作って欲しいです。
- ・庄原市のバスセンター、駅へ行く道を早急に実行すること。
- ・毎年、行っている舗装の穴の補修を無駄だから(毎年、同じ所に穴が開いている)やめて、少しずつでも全面的に舗装しなおしてほしい。
- ・川手柳原線の道路工事の件で、もう何年も通行止め状態が続いているが、何もしてもらわなかった方が便利だった。不便を長すぎたと感じている。いつまで待たなければ、いけないのでしょうか？
- ・冬期の大雪の際の(道路)除雪が十分(ほとんど)行われず、生活の不便を感じる。大雪が降ることが、昔より少なくなっているが、降ったときには道路を中心に、きちんと除雪をしてほしい。
- ・交通量の非常に少ない道路建設は、無駄
- ・東城町でも市街地の裏側に大きな道路を作って、町を他町の人が素通りしてくる為に作るようなものだと思いますが？本町に降りてくれるように考えるべきだと思います。
- ・尾道・松江線の様に流通を生み出すために、早急に米子・庄原間開通すべき……

【上下水道関係】

- ・生活基盤の整備について、上水道と下水道の工事は一緒に行うべき。しかし、庄原市の実情を見たとき浄化槽の設置の方が下水道より効果的。方針の一本化でムダをなくして上水道は基本的に市内の全ての世帯に設置すべきだ。そのためには、どこに住んでいても最低料金の負担で同料金で設置されるべきだと思う。上水道設置は、国の方針なので特別予算が来てるのでは？設置時期や場所によって負担費用が異なるのは憲法違反。抜本的対策と納得のいく説明を
- ・庄原市はどこに住んでいても生活環境が同一に思える様な、まちづくりを希望します。特に生活ライン、上水道の整備については、強く希望します。

- ・川北に水道がきていないのは、なぜですか？大変、不便で困っています。
- ・下水道の料金が高か過ぎるので、もっと下げてほしい。
- ・市は、一つの行事(例えば、下水道工事)が終了したら、終了しました通知くらいは、出して欲しいです。始まる前は、書き物通知は来ましたが、終わったらそのまま(工事が終わったくらいは、各自で見れば解るでしょう、ということでしょうか?)未だに何の通知もありません。

【公共施設・指定管理(個別案件を除く。)関係】

- ・あまり活用されていない施設は廃止し、無駄な費用を抑える。
- ・箱物を作って、未使用の物も多々あると思われるので、早く処理をして次世代に負の遺産とならないよう対応を望む。
- ・廃校・旧公共施設等の再利用について：施設をフォームし、老人(一人暮らし、老夫婦)・若夫婦(低所得者)に安価家賃で賃貸化。カフェ等の起業者用支援。グラウンドは、畑 人が集まる(動きがある)場所づくり。我家は、賃貸のため、老後を考えます。
- ・休校、休園の場所を地域に貸し出す。そばやラーメン、田舎風レストランを出したい人に貸してあげる。若い職員の方も積極的に声をかけてほしいです。
- ・公園・図書館・保育園とかを増やす。
- ・指定管理事業も単なる事業の丸投げになっており、税金の無駄といわざるおえない。
- ・一部の人にもみ必要、便利な建物があり大変、不愉快であります。例)東城・三楽荘、えびすの件 えびすは、必要ないのでは(多くの人の意見)又、えびすは、年寄りには大変不便で誰が考えたのか？(みんなで良く考えて必要なお金は必要な所に使う事が大切だと思います。)
- ・庄原地域だけでなく、他の地区の人たちも充実した生活するための必要最低限の施設の充実(病院・小中学校・保育所・体育館など)
- ・施設使用料が三次に比べて高い 調査して
- ・ハコモノを作りすぎ
- ・行政の施設に入っている団体(個人)でタダで使用されている事が多いのでは・・・例えば、食堂を運営されている方、加工所として利用されている方、目的と違った使い道をしている観光団体等。電気、水道、家賃もタダではいけない。すべての施設・団体を調査してみるべきである。契約書をかわしていない所は、ちゃんと交わし、赤字で経営がうまくいっていない所は、経営を交代したり、中止、閉鎖等検討するべき(このことによって前に進むか、後にさがるか決まります)行政の目に見えない負担を減らすことが、重要であるし新しく活動している所に補助金を投資することができると思います。
- ・指定管理費の削減
- ・旧町の公共施設を整理して3,000人規模の市民会館を建設し、大きなイベント・大会ができるようにしてほしい。(多目的使用も可能なもの)将来を見通して建設する。
- ・学校や保育所、施設の建設など場所や建て方がバラバラで統一性がなく、維持費(地代を含め)がかかりすぎである。もっと研究して、効率が良く、市民が使いやすい建物、場所にするべきである。また、市全体同様な整備をすると、お金がかかるので、住民の数に応じた整備も必要。光ファイバーなどもまず、引くことを考えてほしい。
- ・施設、備品が利用されていない。補助金がらみが特に。調査のうえ適切な処置を希望します。

【観光振興・にぎわい創出】

- ・みんな商業施設は、市外にいくので、庄原市内で買い物ができる所があってもいいと思う。
- ・大学生(高校生)がそのまま定住したいと思える庄原市に(娯楽施設・商工業)
- ・デパートが少ない。ゲームセンターがない。外食をしたくても早く閉まるため行けない(ファミレスがない)
- ・庄原をもっとアピールするべき(メディア等で)
- ・観光PRのスキルを持って欲しい。イベント告知等が下手すぎる。
- ・もっと庄原市のよいところを沢山の方々に知っていただきたい。
- ・尾道松江線も開通(全線)間近ですが、当市に自慢の品(グルメ)とか行事(祭りのな)をもっと他市へPRされては、どうでしょうか・・・失礼！
- ・県外からの来庄者の方々が、活気のないまちだと思われぬ様、中心地のイメージを明るくする、まちづくりを考えてほしい。車社会だけのまちであってほしくない。庄原に生活していく者が前向きに物事を考えていける、まちづくりを望んでいます。
- ・田舎の良さをPRできていない。不便さを逆手に取るようなことを考えてみてはどうか？
- ・宮崎県みたいにPR活動を積極的にしてほしい。
- ・これだけの山林、自然があるのだから、しっかり活用できるようにしてほしい。
- ・良いものがたくさんあると思います。もっと上手にを使って、観光客を集めることもできるかと思います。ここに住んでみたいと思えるように"売り"となるものが必要かと思います。
- ・埋もれている観光につながるものを積極的に見直していく。たとえば、この土地にしかないものを大切に掘

- り起こす。郷土色の強いもの伝統文化的なものなど。
- ・今は、普通に暮らせる幸せを感じておりますが、訪ねてみたい市、あまり観光化しなくてもいいけど特色を活かして、きれいで整理された市内、町内作りが出来ればと思います。
- ・もっと、いまあるものを使って、何が出来るか考えてもらいたい。
- ・庄原市は、なにをウリにして、町づくりをしたいのか、さっぱりわかりません。例えば、丘陵公園をウリにしているわりには、そこへいくまでの交通の便が悪いし、市としての情報発信が弱い。市民には安く入場できるようにとか、公園の周りに丘陵公園に近づいてくというワクワク感をあおるものがなにもない。上野公園との住み分けもできてないし。上野公園と庄原市運動広場との住み分けもない。点で考えていて、面で考えていないのでは？
- ・東城町には、帝釈峡という、すばらしい観光スポットがあります。東城町は、庄原市と合併すべきでは、なかったのです。神石町、油木町と合併すべきでした。今、現在、帝釈と神竜湖は落石の為、分断されています。帝釈峡の良さ、美しさ自然をアピールし、観光客を増やす努力、政策が必要なのではないでしょうか。その為に私は提案します。黒部峡谷の様なトロッコ列車あるいは、まほろばの里から休暇村までのロープウェイを利用し、片道30～40分、往復1～2時間コースの乗り物を考え、観光客を呼び込む位の策が必要ではないでしょうか？もし実現できれば庄原市は発展すると思います。
- ・まちなか広場は、不必要。利用する者なし。
- ・まちなか広場を整備したが、いったい、どれだけの人が利用しているのか？税金のムダ使いではないのか？
- ・庄原よいと祭りも良いとはいうもののマンネリ化して、あまり変わり映えがない。もう少しよい取り組みがあれば、いいと思う事もある気がします。その事を企画されるのも、大変なことだと思いますが、考えてみたいものです。
- ・何かの行事があっても、庄原市内であることが多いので、なかなか参加できない。
- ・庄原市は、高齢者が多いので、観光産業を推進して、地域の活性化を図り、若者が庄原へ住みたいと思われよう市にして、発展していけばいいと思う。
- ・三良坂町のように「食」で特産化をすればどうか。
- ・東城町在住。観光施設、飲食関係が増えればいいと思う。
- ・商工業の活性化と人口増に力を入れて下さい。
- ・店はどんどんなくなり、若い人も少なくなり、老後の暮らしが一体どうなるのかと淋しくなってきました。自治会への参加もできなくなるし、世話をする人に申し訳なく肩身のせまい思いすらしています。出来るだけ、行政で頑張ってもらいたいと思っています。
- ・地域が活気づくには、まず、多世代の住民が多くいることが必要かなぁと考えております。それには、地域の1次～6次産業の活性化 雇用の創出 定住促進というサイクルも有効な方法の一つと思います。まずは、庄原ならではの産業の活性化。新しい体制となった市役所方々に、希望を話したいと思います。
- ・駅周りに店が少ないため、不便である改善してほしい。
- ・庄原本通りを何とかならないものですか。
- ・市役所、銀行、病院、警察と揃っている町の中心地、本通りを昔のようにもっと活性化できないんでしょうかね。9日市にあれだけのお年寄りが出て来られるんです。買い物だけではなく、人と会って話が出来るのが嬉しいんです。せっかく、まちなか広場も立派なのが出来たのに、いつ通ってみても人の姿がみえないんですよ。もっと気軽に立ち寄って話せる(井戸端会議)ような建物が出来なかったんでしょうか？三軒茶屋もありますが、年金暮らしで節約生活をしている身には、そろそろ利用はむずかしいです。
- ・庄原市全体で「道の駅たかの」を活用すべき。もっと可能性があるはず。
- ・高野町に出来た「道の駅」は、利用者の事を考えた道の駅でない。その為、将来的に庄原市(高野町)の為にならない政策だと思う。他県、他市の人がステキだとか、良いねと思う。道の駅にしなければ、そのうち、ただの廃屋になりかねないと思う。レストランの時間も長くし、町民の雇用をし、その分、売上げを上げるとか…
- ・松江道ができたので、交通量も増えるので、道路の整備も必要だと思う。又は施設を利用してカフェにすると何か変わった事をしてみても良いのでは？と思う。
- ・尾道松江横断道が出来、各地をおとずれる人が多くなっている。集客力UPし市・町の活力について、今年の町内大月地区ぼたるみまつり6/30で、乗用車が百台以上来たように思う。私も17:00～20:30ごろまで、車の整理にあたりました。3年前ぐらいから、訪れる人が年々増えている。年間で1週間～2週間強が見られるので、駐車場を作ってほしいとは言えませんが、何か良い対応がないかと思う。町内のモーモー祭り、2年/1回行われているが、毎年、行えないか？(今の職員数では、2年/1回程度とは思えるが)自治振興区も利用し、毎年、行うのが良いのではと思う。上記で集客力UPと言いましたが、町内のモーモー物産館に野菜の出方が少ないように思う。高野には大きな道の駅が出来たが、モーモー物産館は、今の規模が妥当と思われる。野菜目当ての人が多と思われるので、野菜の生産者が増えるよう期待する。良い方法は？
- ・観光施設や行事の振興
- ・シルバー人材の活用した事業の見直し(地域の活性化へ参加又は高齢者への手助け等)
- ・クロカン大会で、もっと西城町をアピール、すずらんの湯、県民の森、昼は大自然、夜は星空など…体育館、駐車場利用してはどうか？プロジェクター利用

- ・庄原市内に空き家が増えてきました。この空き家の使い道を考えてもらいたい。
- ・広島県南部には、しまなみ海道などの全国的に有名なサイクリングロードが整備してあります。三次市においても国道54号線を中心に整備計画があると聞いています。庄原市は山岳が多く、そのため上級者のサイクリストには走りごたえのあるコースも設定できると思います。近年の健康、エコブームによりサイクリストの数も増えていきます。イベントや休憩所の整備、広報等でもっと人を呼べる地域と感じています。イベント運営は、外注して参加費を5,000円～8,000円徴収しても人は集まるはずですよ。
- ・庄原のまちづくりについて、西城町民として、西城について、ご意見します。高齢者が増える中で、介護サービスの充実も必要だと思いますが、若者が帰ってきたくるよう、まちづくりを目指して欲しいです。夏のイベントといえば、「祭り」この祭りで、子供づれの家族が西城に帰省や遊びに来れるような、イベント企画して、みんなで西城を盛り上げるような、まちづくりを求めたいです。
- ・行政改革とは関係ないですが、庄原市の食べ物アピール庄原焼きについて、少々気になっていることがあります。まず、庄原焼きというネーミングにインパクトがありません。おいしい物につながりません。説明を聞かないとわかりません。それとキャラクターを作りも思いうかびません。三次の"から麺"は、辛い 麺おいしそうとつながります。色であらわすなら濃い赤、黒、黄とイメージが湧きます。庄原焼きと聞いても何らかのイメージはわかりません。庄原という名が悪いわけではありませんが、印象付けには物足りません。ネーミングはヒットを左右し、イメージに魔法をかけるものです。提案として"ヒバゴン"をどこかに入れてみては？ゴンというひびきがいいやすく、覚えやすく一時は県北のナゾの名物でした。大抵の人が覚えていきます。くまもんがヒットしました。キャラクターは、やはり動物、ナゾの動物としてキャラクターを作れるかと思えます。ご一考になれば・・・
- ・無駄な観光産業を盛り上げようとしなくてほしい。(市民以外の人が見ることのないパンフレットの廃止又は市の職員が県外のコンビニ等に置いてもらう。)
- ・農林業の振興を含めて、生活の基盤となる生産関係の充実は大事だと思います。農林業や製造業、商工業などの誘致は必要です。庄原の労働力の質は、製造業では悪くないので、可能性はあると思います。また、全体として福祉や教育を重視することも大切だと思います。

【林業振興(木質バイオマス関係を含む。)関係】

- ・バイオマスの方向性が明らかでない、返還(補助金)すれば何億円しなければならなくなるのか具体的な説明を果たしていない。明確な事業計画を説明してほしい。現状のままでは、庄原市に展望は持たず、第2の夕張市となりかねないから引越しも考えなければいけないと思う。
- ・バイオマスについては、しっかりとした検証をして、公開してほしい。例えば市民に負担がかかるようでもあいまいな決着はしてほしくない。
- ・ペレット関連など民間事業者任せには手を出さない。支援するにとどめるべき。トップダウンで指示があったとしても、もっと早くに止めるには、組織として何が出来たか検証してほしい。もしもされているなら、今後に活かしてください。
- ・バイオマスの対応は、その時の市長、議員、職員が1/3は対応し、残りは税金で処理することを望む。(市がなにも対応せず、全額税金と言うのは無責任だ)
- ・ジュオンの問題を早期に解決し、負債を減らすことを考える。もし、ジュオンの機材が使用可能で製品が良質なものであれば、この事業は継続すべきであるとする。
- ・バイオマス関連等、担当職員がもっと深く勉強しておれば、全国に知られるような問題は起きていない。今後、補助金等がある件については、何段階ものチェックが必要。何を言っても市役所は人です。頑張ってください。
- ・庄原市も山がほとんどです。山が荒れて植林された山が放置され、災害の危険が大です！昔、田の構造改善事業をされたように、国・県・市の補助等で山に道をつけ整備し、そして山の木で林業を振興し、山を生かした観光産業を推進してほしい。
- ・庄原には、木がかなりあります。ですが、林業はあまり活発ではありません。企業の誘致により、どうにかありませんか？
- ・グリーンケミカル社の二の舞にならないよう。リーダーは常に危機感を持ち、就労してもらわないと最後には、市民に負担をお願いすることになります。行政・議会一丸となり頑張ってください。

【農業振興関係】

- ・産業の推進で、地域の中心的な農産物の加工所を作ってほしい。(地域住民が誰でも参加できる加工所)
- ・農業者の支援、助成の充実
- ・よその町や県が出来ないような思いっきり特色を出した町づくりをしてほしい。荒れていく農地等も全国からオーナーを募ってやれば、農業の復活ではないけれども活性化につながるのではないかなと思う。一番言いたいのは、PR不足！庄原市のPRにもっとお金を使うべきでは？
- ・農業高齢化で、一部の農家に負担がかかっている分、田の周囲、道すじ山雑草多い。きれいな庄原市にみえない。

- ・鳥獣被害の抜本的対策:自給自足のできない山村の生活では魅力がない。人口減少に歯止めを:休耕田対策や山の手入れなど、長期的な雇用労働人口を考えて、収入源UPはできないのか。他県あるいは他地区での成功例を参考にしてみることも必要では。
- ・庄原市に住んで良かったと思える、まちづくりが理想ですが、なかなか大変な事ですね。一番には、各町に「ホッと一息リフレッシュ」する場所があるといいですね。そして、庄原市の野菜、米、果実、何を食べてもおいしいです。もっともっと食育に力を入れて頂けたらと思います。
- ・農業についても、現在、6次産業に力を入れているそうですが、生産 加工 物流がまったくつながっておらず、個人の善意や負担でなりたっている部分が多い。それに、ハコモノをつくらついたらつきたで、維持管理費や修繕費などが考慮されていないことが多い。
- ・農林業に力を入れるべきだと思います。農協、森林組合だけでなく、一般の企業が参入出来る様な仕組みを作ること。生産から販売まで自由にできる。
- ・放課後、長期休暇中の取り組みなど市で責任をもって実施を。高齢化している農林業の振興に市が本腰で取り組んでほしい。
- ・それぞれの地域に適した行政サービスをしてほしい。農林業で安定した収入が得られることになり、若者が住みやすい、安心して子育てのできる活力のある市になったらいいと思います。
- ・この世の全部が弱肉強食時代の様で、人の心までも滅びていってしまいそうです。20年~30年度の庄原市の人口も3万人以下になる予想がでています。庄原市の資産と言えるのは、広い山林と広い農地しかありません。これをいかす政策しかないと言えます。地道な努力しかありません。庄原市をこよなく愛する、一市民より。
- ・庄原市の将来を考えると自然保護と農業振興に力を入れるべきである。開発による町づくりは、長く続かないので、ゆっくりとした成長を期待する。

【学校教育関係】

- ・教育に補助してもらいたい。(地元で高校が無いので下宿寮生活になり、交通費もかなりかかってしまう。)
- ・障害者又は教育の充実。先生の意見をよくきいてください。子供の親の意見より生徒のことをきいてください。
- ・学校区を越えてでも行きたいような、魅力ある教育力の高い学校を市の中心部で、とりあえず実現しないと、
- ・庄原の高校や大学で、いかに充実した教育が受けられるかが有能な人材を育成し、将来、庄原にUターン、Iターンしてもらえるかの鍵だと思う。県教委や大学などに任せるのみでなく、市としても積極的な関わってもらいたい。
- ・学校の統廃合
- ・小学校の学校区が以前と比べて容易に(親の都合)変更できるようになったが、地域で子育てしようと言ったところで、見守る子供達が大きな学校へ集中する気がします。
- ・今、東城小学校の建替工事について、仮設の学校を使用するにしても近隣の施設を利用するという案はなかったのですか。
- ・小学校の専科をもう少し充実したものにしたい。

【生涯学習関係】

- ・東城の図書館の事ですが、すっごく入りづらいです。入口の場所もおかしいし、入りにくいし、駐車場は遠いし、公民館側との間は夕方シャッターが閉まっていて感じ悪いし、誰の為の図書館なのでしょう？ちゃんと利用者の事を考えて造られているのでしょうか？といった感じで市民の事を考えていない事がちょこちょこ感じられる事があります。今回は、図書館の事なんですけどね
- ・公民館の使用について、開放的に取り組んでもらいたい。
- ・文化施設をもっときれいにしてほしい。古いので。
- ・スポーツ施設の増加。比和のかさべるで体育館は、自由に使えないため。
- ・高野スポーツ広場整備について、排水処理が整備されておらず、グラウンドがでこぼこになっている。グラウンド整備機用の草取りマットを購入してほしい。除草剤では間に合わない。フェンスが低い、防球ネットもない。